

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの活動報告>

第48号  
2005年2月15日  
一月刊一



# 古川なおきレポート



古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50  
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

## 夢を持てる教育改革を！

皆様お元気ですか？

横浜市会は今月から平成17年度の予算市会がスタートします。一般会計約1兆3千億円はニュージブランドの国家予算と同じ規模です。今回の予算編成は、厳しい財政状況の中、人件費など内部経費を削減し当初の400億円の収支不足を補いました。また「選択と集中」という考え方の下、緊急を要する防犯力、防災力の強化、福祉、教育、環境に予算を重点配分したことが、今年の主な特徴です。ぜひ予算市会にご注目ください。

さて、先月のレポートに今年は教育に力を入れたいと申し上げましたが、早速1月15日に都内の郁文館学園で「政治の仕事」について講演させていただきました。郁文館学園は私が尊敬し希望ヶ丘高校の先輩でもある渡邊美樹理事長（ワタミフードサービス(株)社長）が私財を投じ、日本の教育を改革する決意で経営している中高一貫教育の男子校です。この学校の特徴は、生徒たちに「夢を持って努力すること」を教え、夢ノートを配布し、中学生の時から自分の夢を書いて教師はその夢を実現させるために真剣にアドバイスをしていることです。また実社会を知ってもらうために、学園祭の模擬店では生徒たちに株式会社を設立させ、実際に配当金を株主に渡すなど、ユニークな教育を行っています。私の講演は理事長講座の一環で、実社会で活躍している人の話を聞くというものでした。私は土日もない日常生活や議会での活動、朝の駅頭での市政報告や給料のことまで正直に話しました。また、国政を担う国会議員の不祥事が多く、それが国民の政治離れやマスコミのパロデ

イになっていることに、私自身、地方議員の一人として強い憤りを感じていることも話しました。そして私も社会に貢献するための夢や希望をもっていくことも・・・講演は体育館で2回に分けて行い、約1500人の生徒たちは、礼儀正しくしつかりと私の話を聞き、質疑の時間には何人もの生徒の手が挙がり、私もこれに応えさせていただきました。

講演終了後、一人の生徒が控え室に私を訪ねて来ました。夢ノートに政治家と書いている高校生です。いつから政治家を志したのか、高校時代は何をしていたのかなど質問を受けていたのですが、彼が途中から「古川さんは僕と同じです」といって泣き出してしまいました。握手を握り、握手をして別れたのですが、後で先生から理由を聞くと、その生徒は世間を騒がす政治家の不祥事をメディアを通して知り、今のままの純粋な気持ちでは政治家をやっていくことは難しいのではないかと悩んでいたそうです。私のような政治家でも自分と同じ思いの政治家が実際にいたことに感動して涙があふれ出てしまったと言っていたそうです。この話を聞き、こちらも目頭が熱くなり、自分ももつとがんばらなければならぬと勇気づけられました。政治家に限らず、私たちは子どもたちの憧れるような尊敬される大人にならなければならぬと思います。

今回は郁文館の生徒たちや熱心な先生方から様々なことを学ばせていただきました。私も、横浜の子どもたちが夢を持ち、夢に向かって努力できるように教育を改革したいと思えます。

横浜市議員 古川直季

## ☆☆古川なおきTV出演決定！☆☆☆☆

番組名：座談会「2005年予算市会の焦点！」

- 2月20日（日） テレビ神奈川 19：00～20：23
- 3月1・8・15・22・29日 横浜ケーブルビジョン 11：30～12：53
- 3月4・11・18・25日 横浜ケーブルビジョン 21：00～22：23

古川なおきが会派を代表して出演します！ご覧下さい！

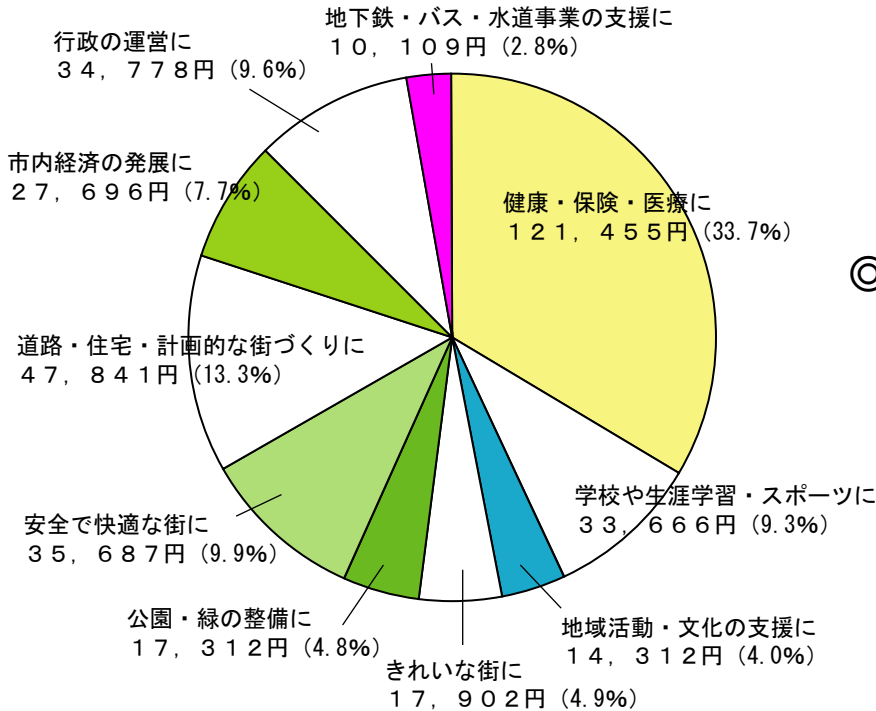
1月25日（火）テレビ朝日「報道ステーション」で古川なおきがインタビューされました。そのときのビデオをご希望の方に貸し出いたします。古川事務所までご連絡ください。

### ☆古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 36才  
県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業  
横浜銀行勤務後、議員秘書となる  
平成7年横浜市議員初当選(26才)  
平成16年度市民建築常任委員会副委員長  
平成16年度情報化社会推進・危機管理対策特別委員会  
自民党横浜支部連合会副幹事長  
横浜青年会議所(JC)  
日本動物福祉協会横浜支部支部長  
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問  
希望ヶ丘高校同窓会校慶会評議員  
旭区スポーツダンス協会顧問  
旭区サッカー協会顧問  
卓球本間クラブ所属

# 平成17年度予算 市民一人当たり予算の使いみち

市民一人当たり予算総額  
360,758円(100%)



※予算額には、それぞれの事業の財源として過去に発行した市債の返済額などを含む。  
市民一人当たり予算は人口335万9867人(2005年1月1日現在)を用いて算出。

## ◎17年度予算の規模

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 一般会計   | 1兆2,843億円                |
| 特別会計   | 1兆5,260億円                |
| 公営企業会計 | 6,653億円                  |
| 総額     | 3兆4,415億円<br>(対前年度0.8%減) |

## ◎17年度予算編成の取組と結果

予算編成に先立って公表した中期財政見通し(16年9月公表)では、現行の施策・事業を前提とすると、17年度予算において400億円の収支不足額が生じると見込まれていました。しかし17年度予算編成は、「事業の抜本的な見直しの考え方」を編成方針において明確に示した上で編成に取り組みました。

その結果、

\*過去最大の事業見直し

・・・△190億円の経費縮減

\*過去最大の新規事業・・・126事業

\*過去最大の人員削減・・・△973人

という成果を生み出しました。

いよいよ4月から市内全域で分別収集の品目が増えます。

## 「ヨコハマはG30」の取組

### ◎市民の皆さんの協力で横浜市のゴミは少しずつ減っています！

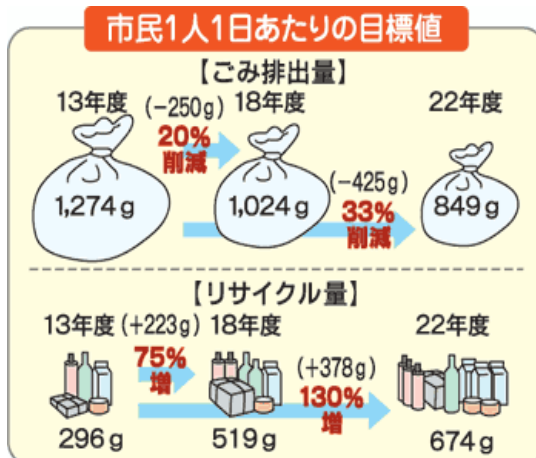
2004年4月から12月までの全市のごみ排出量は、昨年度の同時期と比べ、18万4千トン減少し103万トンとなりました。この結果、12月末現在、2004年度の年間計画である「対前年度比9万3千トン削減」を9万トン上回る結果となっています。

### ◎なぜ、いま「ヨコハマはG30」なのか・・・

横浜市のごみ排出量は人口の伸びを上回って増え続けてきました。このままでは焼却灰を埋め立てる処分場が不足し、新たな整備が必要になります。整備費用を節減し、環境の保全をめざし、次々に住み良い都市環境・豊かな地球環境を残していかなばなりません。

そこで、横浜市では平成22年度のごみ排出量を平成13年度に対し30%減らすという目標をたてました。市民・事業者の皆さんと一緒にごみの減量・リサイクルをすすめ、循環型社会の形成をめざす「環境行動都市の創造」に取り組みます。

※分別についてのお問合せは  
各区環境事業局事務所へ  
旭区事務所 TEL 953-4811 / FAX 953-6669



## 春 3月19日に 古川なおき スクエア 始動！

古川なおきの勉強会を開催します。さまざまな分野の講師を招いて講義と質疑応答という形で行います。大学生を中心とした会ですが、どなたでも参加できますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

\*日時 3月19日(土)  
16時～

\*会場 八洲学園大学  
横浜駅東口より徒歩8分  
市営地下鉄「高島町駅」0分

\*会費 200円(飲物代・資料代)

古川事務所 TEL 391-4000  
jimu@furukawa2002.com まで